



234

この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2024年10月27日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部



衆院が解散され、万歳をする議員たち

27日投開票 衆院選の結果はいかに

28日(月)＝1、2面など

第50回衆院選（定数465＝小選挙区289、比例代表176）が27日、投開票されます。自民党派閥の裏金事件を受けた政治改革など「政治とカネ」問題への対応や、物価高を踏まえた経済対策などを争点に、選挙戦が繰り広げられました。最大の注目点は、連立政権を組む自民党と公明党が過半数（233議席）を維持できるのかどうかです。選挙結果や分析をたっぷりお伝えします。



論点

8050問題の現在地

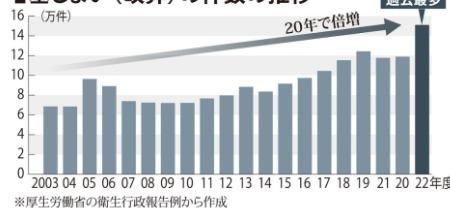
30日(水)＝オピニオン面

自宅で亡くなった高齢の親の遺体を放置したとして、同居する中高年の子が死体遺棄容疑で逮捕される事件が相次いでいます。80代の親がひきこもり状態などにある50代の子を養う「8050問題」の当事者とみられるケースが目立ちます。背景に何があるのか、支援のあり方はどうなっているのか、ジャーナリストの

池上正樹さん＝写真左、愛知教育大の川北稔准教授＝写真中央、大阪府豊中市社会福祉協議会の勝部麗子事務局長＝写真右＝に聞きました。



■墓じまい(改葬)の件数の推移



特集 **ワイド**

杉村太蔵さんの泣き笑い人生

30日(水)＝夕刊2面



「人間万事塞翁（さいおう）が馬ですね」。この人が言うとなんだか納得できます。元衆院議員の杉村太蔵さん（45）＝写真＝です。時代の風に乗れ、当時最年少の26歳で政界デビューし

ましたが、自由奔放な発言がバッシングを浴び、わずか1期で政界を去りました。あれから約15年。人気コメンテーターに転身するまでの泣き笑い人生を聞きました。

これまでの先祖供養のあり方を見直して、墓石を撤去して更地に「墓じまい」が増えています。一方で、墓じまいの費用などを巡ってト

ラブルになることもあります。墓じまいに踏み切る人が多いのはなぜか。その背景を探るとともに、費用はどのくらいかかるのか▽墓じまい

まい後の遺骨をどのように供養するのか▽トラブルな円滑に進めるためにどのようなポイントに気をつけなければならないかを調べました。

27日(日)＝総合面

「墓じまい」の背景とポイント

竹橋の窓辺から

編集後記



あつという間に涼しくなり、秋の気配が漂ってきました。10月からはCM「のんと毎日新聞」の軽やかに生きる編」の放映がスタートしました。多様性のある生き方として、社会になるようコミュニティとして寄り添いたいという毎日新聞のメッセージを、のんさんが自分らしく生きる4人に伝えてくれていたんです。ぜひご覧ください（坂井友子）



毎日新聞